

出入国在留管理庁説明資料



令和8年9月



令和8年度事業について

【ご議論いただきたい事項】

「国際観光旅客税の使途に関する基本方針等について」に照らして、今年度実施している事業の継続性、改善点などをどのように考えるか。

※具体的な予算措置については、基本方針等を踏まえた議論を行い、課題の優先順位等も踏まえて予算編成過程において検討。

事業名	予算額	事業概要	事業スキーム
非接触指紋取得技術を活用した上陸手続環境の整備	8,867百万円	非接触指紋取得技術の実運用化に向け、令和7年度から令和8年度にかけて検証・評価を実施し、照合精度に関する課題の解消を図る。	調査事業等
共同キオスク端末追加配備等	1,335百万円	未配備の主要空港（新千歳、中部、那覇）に共同キオスク端末及びウォークスルーゲートを配備することで、手続時間の短縮化を図る。	調査事業等
イミグレーションアテンダント	1,110百万円	各空港の状況に応じてイミグレーションアテンダントを配置し、共同キオスク、バイオカート及び顔認証ゲートの利用支援を行うことで、出入国手続の円滑化及び利便性向上を図るとともに、機器の改良及び最適配置を推進する。	調査事業等
入国審査待ち時間のストレス軽減に向けたデジタル技術活用実証事業	40百万円	生成AI等を活用した情報発信の実証事業を実施し、訪日外国人旅行者の満足度向上と入国手続の円滑化を図るとともに、対象拡大や効果検証を進める。	調査事業等

入管・税関手続を一括化する「共同キオスク」の拡大により、旅客の利便性向上と水際対策の効率化を推進



顔写真(外国人については指紋を含む)、旅券情報及び申告情報の同時取得により、入管・税関手続の重複を解消し、利便性向上と手続時間の短縮を図る。

個人識別情報システム等の機能強化、出入国審査迅速化の推進

◆先端技術を活用した本人確認の迅速化と入国審査の効率化

・更なる訪日外国人の増加を見据え、先端技術を活用して本人確認の迅速化及び効率化を進め、水際対策の厳格性を維持しつつ、待ち時間の短縮や業務効率化を図り、持続可能な入国審査体制を構築する。

◆安定運用の確保と審査高度化の推進

・日本人出帰国システムの老朽化対応による安定運用の確保に加え、顔認証技術の高度化により、審査の厳格性を維持しつつ効率化を推進し、利用者利便性の向上を図る。

◆多言語案内の充実とデジタル技術活用による入国手続の円滑化

・多言語対応スタッフによる支援や生成AIを活用した多言語案内に加え、審査場内の旅客動線や待機列等のレイアウト見直しを行うことで、外国人旅行者の利便性向上と入国手続の円滑化を図るとともに、混雑緩和、待ち時間の短縮、案内業務の効率化及び職員負担の軽減を推進する。



上陸審査場(到着便集中時)



今後対応すべき課題と対応の方向性について(1/2)

【ご議論いただきたい事項】

今後対応すべき課題と対応の方向性について、その適切性、改善点等、さらに検討すべき課題をどのように考えるか。

※具体的な予算措置については、基本方針等を踏まえた議論を行い、課題の優先順位等も踏まえて予算編成過程において検討。

※課題に対する対応については、非予算によるものも含め議論。

分野	課題	対応の方向性
出入国	訪日外国人旅行者の増加に対応するため、入国手続の更なる迅速化・円滑化が求められているが、共同キオスク端末の整備が十分ではない主要空港が存在しており、利便性の向上や審査体制の効率化が十分に図られていない。	観光旅客税を活用して共同キオスク端末等の追加配備を進め、入管・税関手続のデジタル化を推進することにより、利用者の待ち時間短縮、手続の円滑化及び水際対策の効率化を図る。
出入国	訪日外国人旅行者の増加に伴う入国審査件数の増大に対応するため、個人識別情報システム（J-BIS）の処理能力向上及びシステム基盤の強化による安定運用の確保が必要となっている。	J-BISの更改により、処理能力・データ照合性能の向上及びシステム基盤の強化を図り、厳格な本人確認を維持しつつ、入国審査の迅速化・効率化を推進する。
出入国	顔認証ゲートの利便性向上と出入国審査の更なる迅速化・効率化を図るとともに、日本人出帰国審査システムの更改により、安定的かつ確実な審査体制を確保する必要がある。	日本人出帰国審査システムの更改による安定運用の確保に加え、顔認証機能の高度化により、審査の厳格性を維持しつつ迅速化・効率化を図り、利便性の向上を推進する。

今後対応すべき課題と対応の方向性について(2／2)

分野	課題	対応の方向性
出入国	訪日外国人旅行者の増加に伴い上陸審査場の混雑が進んでいるが、施設拡張には制約があるため、レイアウトの見直し及びシステム機器の移設による運用効率化と利便性向上が課題となっている。	訪日外国人旅行者の増加による上陸審査場の混雑緩和を図るため、イミグレーションアテンダントの増配置に加え、審査場内の旅客動線や待機列等のレイアウトを見直し、限られた空港施設の有効活用による運用効率化と利便性の向上を推進する。